

施策の柱 5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標 18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。
 【目標担当課：環境政策課】

■目標の達成状況

●環境に関する主な事業への参加者数

項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
環境フェア来場者数	約 1,300 人	約 2,000 人	約 2,000 人
里山はっけん隊！参加者数 (平成 23 年度は雨天により 1 回中止)	23 人	延べ 71 人	延べ 56 人
こどもエコクラブ登録クラブ数	8 クラブ	5 クラブ	5 クラブ
環境市民講座参加者数	33 人	76 人	104 人
農業・漁業体験プロジェクト参加者数 ※平成 23～24 年度は環境政策課、平成 25 年度からは農業水産課が実施。	延べ 50 人	延べ 61 人	延べ 148 人
親子でエコ・クッキング参加者数	11 組	8 組	実施なし
公民館・文化資料館等における環境に関する講座参加者数	837 人	1,609 人	1,464 人

環境に関する事業が継続的に行われており、一定の参加者数を得ています。

市民の環境に関する活動への参加状況を把握するため、「市政アンケート調査(3,000 人を対象)」を活用し、目標の達成状況の目安とすることを検討しています。

※詳細は P 156 (資料 2) 及び P 159 (資料 3) を参照してください。

重点施策 34 意識啓発・人材育成

■ 施策のねらい

- ・市民の環境意識向上のための意識啓発や行動の実践とともに、知識や経験を他の人へも広げていける人材を育成し、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

■ 平成 24 年度版年次報告書の内容

課題(環境審議会の評価)

- ・各担当課が環境基本計画やみどりの基本計画を念頭に置いて施策を実施すること。
- ・社会教育課は公民館、文化資料館等の活動を通して、環境について考える学習機会を設定できることから、講座の企画・立案・具体案の年間計画を作成して、それを周知すること。



今後の方向性(32 年度までに目標を達成するため)

- ・各担当課の連携を進め、より充実した実施内容にします。
- ・各施設の講座情報を環境政策課が集約し、効果的に情報配信し、参加者増加を図ります。



■ 平成 25 年度の取り組み

予定していた施策 (◎: 予定していなかったが実施した施策)	実施結果 ([]: 平成 24 年度実績、《 》: 理由等)
広報紙、タウン紙、ホームページ、環境掲示板等を活用した情報の発信	・環境に関する各種情報を随時発信しました。 ・「みんなの環境基本計画特集号(広報紙に折り込み)」や「ごみ通信ちがさき」を通じ、幅広い市民を対象に情報提供を図りました。 ・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」で「夏休み環境イベント特集」のページを設ける等、情報の一元化を進めて参加者数の増加を図りました。
「ちがさきエコネット」の制度構築	・平成 27 年度運用開始を目指し制度検討を進めました。
環境政策課主催事業の実施	・各事業を実施しました(ちがさき環境フェア 2013/環境市民講座/里山はっけん隊! /こどもエコクラブ交流会/農業・漁業体験プロジェクト(農業水産課主催))。



環境に関する講座の実施	・各施設で実施しました。 ・公民館及び文化資料館の年間イベントについて、ホームページにより周知しました。 ※詳細は、P156～(資料2)及びP159～(資料3)を参照してください。
◎環境マップ作成の支援	・ホームページにより環境マップ作成ツールや作成例を公表しました。

■ 予算執行状況等

担当課	平成 25 年度予算額	平成 25 年度 決算見込額	平成 26 年度 予算額
環境政策課	合計 1,814 千円	1,358 千円	1,660 千円
	(里山はっけん隊！事業費) 192 千円	176 千円	190 千円
	(エコ・クッキング事業費) 40 千円	0 千円	40 千円
	(環境市民講座等事業費) 143 千円	93 千円	153 千円
	(農業・漁業体験プロジェクト事業費) 20 千円	20 千円	15 千円
	(環境フェア事業費) 1,419 千円	1,069 千円	1,262 千円
社会教育課	0 千円	0 千円	0 千円



■ 評価及び理由

A 極めて順調に進んでいる	B おおむね順調に進んでいる	C ある程度進んでいる	D あまり進んでいない	E 今後、積極的な取り組みが必要
100%	90%	75%	60%	40%
				0%

【施策実施担当課：環境政策課、社会教育課】
できたこと・成果 ・広報紙など多くの媒体を使って幅広く意識啓発ができました。 ・新たな情報発信及び実態把握が見込まれる「ちがさきエコネット」の制度構築に向け順調に準備を進められました。 ・市民等が参加できる事業を実施し、多くの方が参加しました。環境市民講座に参加された方がちがさきエコワークの会員になるなど、環境活動への新たな参加者を得ることができました。 ・環境政策課がコーディネーター的な役割を果たし、公民館事業への環境活動団体の協力が実現するなど、市内の連携体制の構築に一定の前進が見られました。 ・環境マップ作成応援ツール(電子マップテンプレート等)をホームページで提供することで、地域の自然に親しむ「環境マップづくり」が誰でも簡単にできるようになりました。
できなかったこと・問題点 ・意識啓発が人材育成に結びつくには、工夫や時間が必要です。



■今後の方向性(優先度順)

- ・市民が情報を手にしやすい環境づくりを進めます。
- ・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」のさらなる充実を図ります。

■スケジュール

短期			中期			長期			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
① 情報の内容及び発信方法の改善、随時更新									
② 市民等を対象とした環境に関する事業の実施									

トピックス！

里山はっけん隊！第3期生が作成した「やなぎやとはっけん！マップ」

やなぎやとはっけん！マップ (by 第3期 里山はっけん隊！〈平成24～25年度〉)

♥ に、マウスポインタを近づけると、みんながつけた「お気に入り場所の名前」が見られるよ！(青は冬、赤は春の回)
 ★ に、マウスポインタを近づけると、写真が見られるよ！

吹き出しの色によって見つけた季節がちがうよ

●第1回 夏(平成24年9月6日)
 ●第2回 冬(平成24年12月4日)
 ●第3回 春(平成25年4月20日)
 ●第4回 秋(平成25年10月13日)

○ クリックで最初のカードミニアに戻ります。

みんなの「はっけん！カード」

タイトル: 手紙のあそび

見つけた場所: 里山・里山・里山・里山

その他: ()

かわりポイント:
 手紙のあそび
 手紙のあそび
 手紙のあそび
 手紙のあそび

協力: (公財)神奈川公園協会、柳谷の自然に学ぶ会

里山はっけん隊！

第3期は平成24年～25年の2年間です。

○をクリックするとそこで発見した虫などが右側に表示されます。

また、このようにマップが簡単に作れるツール等をホームページで公表しています。

里山はっけん隊！は2年間に渡り四季の里山を訪れ、ワークショップで第1期は図鑑、第2期は歳時記、第3期ははっけんマップを作成しホームページで公開しています。参加者の復習や参加者以外の方も教材として使用できるようになっています。

重点施策 35 現在活動している市民や市民活動団体、事業者による環境保全の取り組みの支援

■ 施策のねらい

- ・市内の市民活動団体や事業者に対し、効果的な支援を行うことで環境に関する活動への参加者数等を増やします。

■ 平成 24 年度版年次報告書の内容

課題(環境審議会の評価)

- ・環境市民会議「ちがさきエコワーク」以外の市民団体に対する支援を検討すること。
- ・環境活動を行っている市内の事業者との連携を強めること。



今後の方向性(32 年度までに目標を達成するため)

- ・既存の支援を継続して実施します。



■ 平成 25 年度の取り組み

予定していた施策 (◎: 予定していなかったが実施した施策)	実施結果 ([]: 平成 24 年度実績、《 》: 理由等)
環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動支援	・会議室、資料の印刷をはじめ、運営上必要な支援をしました。また、環境市民講座の開催に係る事務的な支援やホームページ、広報紙などの媒体を使った PR などを実施しました。 ※活動状況の詳細は巻末の P163～(資料 4)を参照してください。
「ちがさき環境フェア 2013」の実施	・市民団体、事業者、市により企画実行委員会を設置し、様々な意見を基にイベントを構築しました。また、当日の運営も協働で実施しました。 ・市民団体、事業者が各活動を市民にアピールする機会を提供しました。 参加・協力団体数: 計 75 団体(市民団体 23 団体、企業 30 社、その他機関: 12 団体、市 10 課)
電気自動車購入補助事業の実施 (受付可能件数 30 件、1 台につき 10 万円の補助)	・補助件数: 30 件[22 件](※重点施策 28 を参照)

テーマ 5 計画を確実に進めていくための人づくり
 施策の柱 5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

◎環境保全課・資源循環課・景観みどり課による市民活動団体・事業者への各種支援	環境保全課
	・環境美化推進事業:延べ団体数 105 団体、参加人員 8,789 人
	・民間団体補助事業:団体数 24 団体、補助金額 329,154 円
	資源循環課
	・資源回収推進地域補助金制度:交付団体数 134 団体、補助金額 38,409 千円
	景観みどり課
	・緑化推進団体活動事業費補助金制度:交付団体数 6 団体、補助金額 48,000 円
	・茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会への支援:会員事業者数 26 社、補助金額 16,000 円

■ 予算執行状況等

担当課	平成 25 年度予算額	平成 25 年度 決算見込額	平成 26 年度 予算額
環境政策課	合計	4,562 千円	4,162 千円
	(環境市民講座等事業費)	143 千円	93 千円
	(電気自動車購入補助事業費)	3,000 千円	2,250 千円
	(環境フェア事業費)	1,419 千円	1,069 千円



■ 評価及び理由

A 極めて順調に進んでいる	B おおむね順調に進んでいる	C ある程度進んでいる	D あまり進んでいない	E 今後、積極的な取り組みが必要
100%	90%	75%	60%	40%
				0%

【施策実施担当課：環境政策課】
できたこと・成果 ・「ちがさきエコワーク」の活動支援について、事務局として一定の役割を果たしています。 ・ちがさき環境フェア 2013 において、市民活動団体や事業者の取り組みを多くの方へ PR することができました。また、企画段階から事業者の参画を図ることができ、一般市民と市民団体・事業者との接点を生み出すことができました。 ・団体・事業者に対する支援事業を引き続き実施することができました。
できなかったこと・問題点 ・各団体の取り組み内容、成果については、市が把握しきれていない部分もあります。



■今後の方向性(優先度順)

- ・市民団体、事業者の環境活動に必要とされている支援について、積極的に情報を収集します。
- ・「茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画」において位置づけた「(仮称)エコ事業者認定制度」を導入し、温室効果ガス排出量の削減に取り組む事業者の支援を行います。

■スケジュール

短期			中期			長期			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
① 必要な支援の実施、適宜見直し									
② 広報紙等での活動の紹介や表彰などによる活動促進									